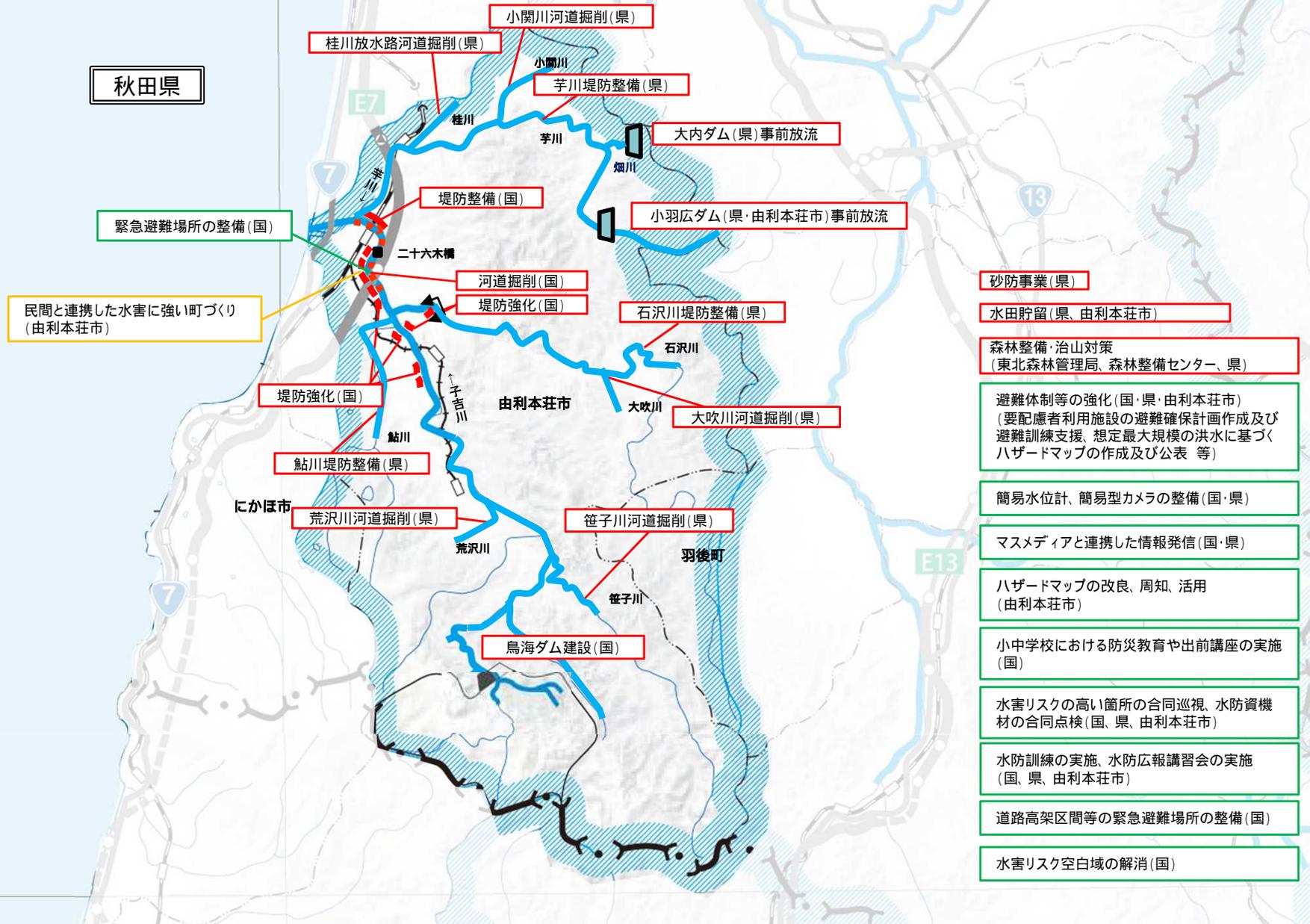


子吉川水系流域治水プロジェクトの更新(案)

令和5年度の取り組み状況(個票)

# 子吉川水系流域治水プロジェクト【位置図（詳細版）】

令和5年3月31日公表版



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 洪水調節施設の設置～鳥海ダムの建設～

子吉川沿川の洪水被害の軽減、水需要への対応や渇水被害の軽減を図るため、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給、発電を目的に鳥海ダムの建設を推進します。

鳥海ダムでは、令和元年度より工事用道路など各種工事に着工している。令和5年度は、左右岸上部掘削工事、仮締切工事、付替道路工事、工事用道路工事等の進捗を図っており、令和6年度の本体工事着工を予定している。



**鳥海ダムの諸元**  
 河川名: 子吉川水系子吉川  
 ダム高: 81.0m  
 堤頂長: 380.4m  
 総貯水容量: 46,800千m<sup>3</sup>  
 湛水面積: 3.1km<sup>2</sup>  
 集水面積: 83.9km<sup>2</sup>  
 洪水調節: 自然調節方式  
 流量: 780m<sup>3</sup>/s→80m<sup>3</sup>/s

※ダムの諸元は、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

### 鳥海ダム建設事業の基本計画第1回変更(令和5年8月官報告示)について

#### 鳥海ダム建設事業 基本計画変更(第1回変更)の内容

##### ・事業工期

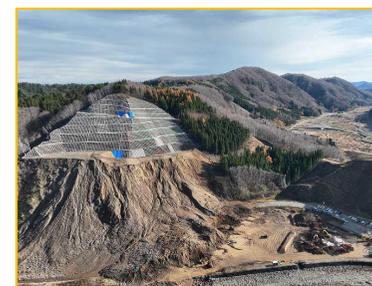
働き方改革等により 令和10年度から 令和14年度まで4年延伸

##### ・事業費

物価上昇等により 約1,100億円 から 約1,990億円へと約890億円増



上流側からダムサイトを望む



右岸上部掘削工事 掘削状況



付替市道 4号橋下部工工事 施工状況

## 洪水氾濫対策【河道掘削】

・河川を掘削して水の流れる断面を大きくして水位を下げることで、洪水を安全に流下させる。

### 河道掘削 二十六木（とどろき）地区



施工後

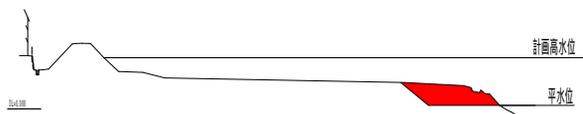


施工前



河道掘削状況

河道掘削断面図



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

## 洪水氾濫対策【河道内樹木伐採】

・洪水流下の阻害となる河道内樹木を伐採し、水の流れる断面を大きくして水位を下げることで、洪水を安全に流下させる。

河道内樹木伐採 【左岸】南田地区 【右岸】荒町地区



施工前



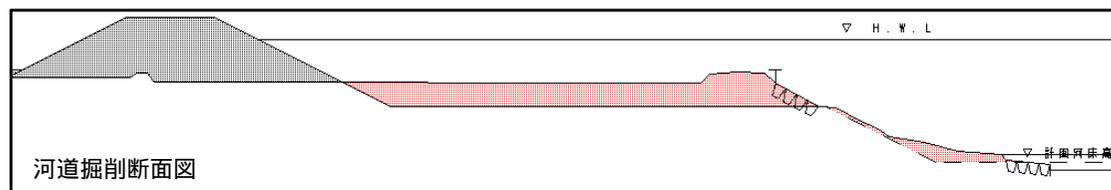
施工後

水生生物等の生息環境保全のため、河岸部分の低木(ヤナギ等)は残しています。

## 洪水氾濫対策【河道掘削】

・河川を掘削して水の流れる断面を大きくして水位を下げることで、洪水を安全に流下させる対策として、河道掘削を実施する。

河道掘削 令和5年度 芋川 徳沢（とくさわ）地内



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

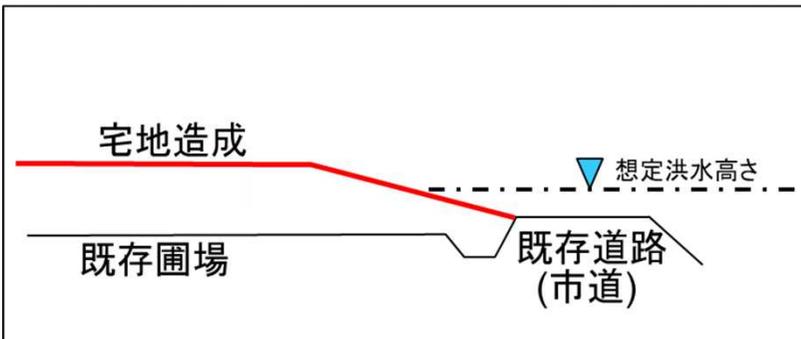
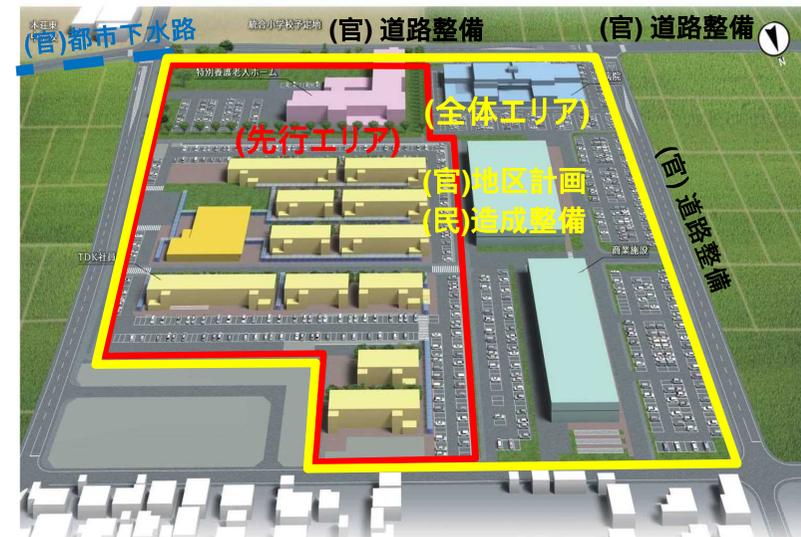
# 被害対象を減少させるための対策

## 一番堰まちづくりプロジェクト浸水対策【宅地造成】

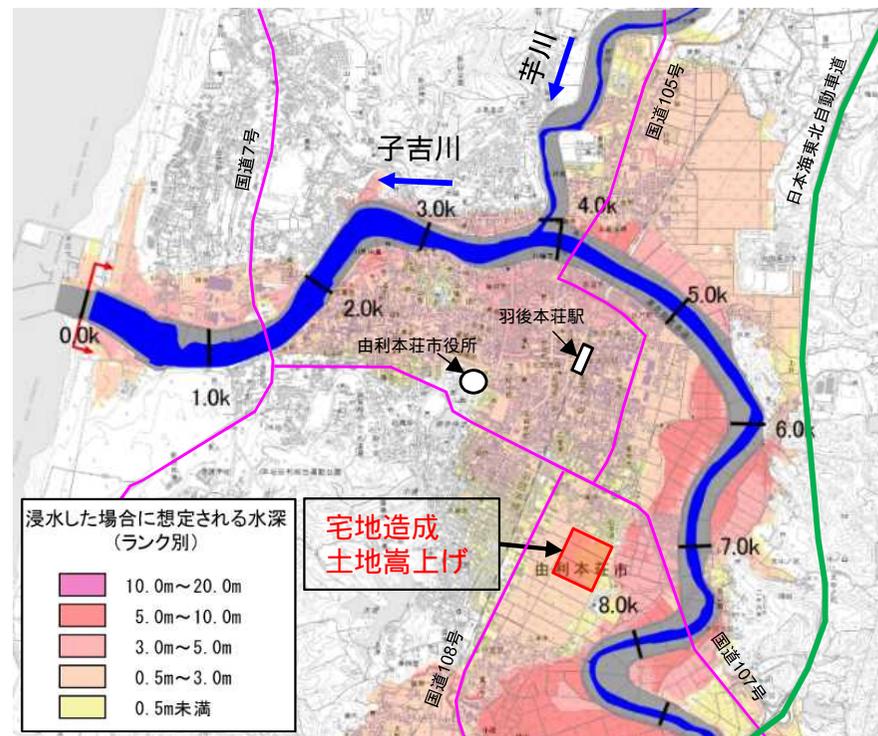
- 土地の高さを嵩上げにより浸水被害の減少対策を合わせた官民連携による宅地造成を行う。
- 由利本荘市と民間企業が連携し、社員寮や病院、特別養護老人ホーム、商業施設が一体となったまちづくりを進める構想。  
(居住者400～500人の見込み)

令和3年度:(官)都市下水路および地区計画の都市計画決定  
(民)用地買収、造成着手(先行エリア)  
令和4年度:(官)都市下水路整備着手、道路整備着手、(民)造成(先行エリア)  
令和5年度(官)道路整備、(民)建築(先行エリア)  
令和6年度(官)道路整備、(民)造成 予定

R3～R7 宅地造成 約9ha  
(薬師堂字一番堰地内)



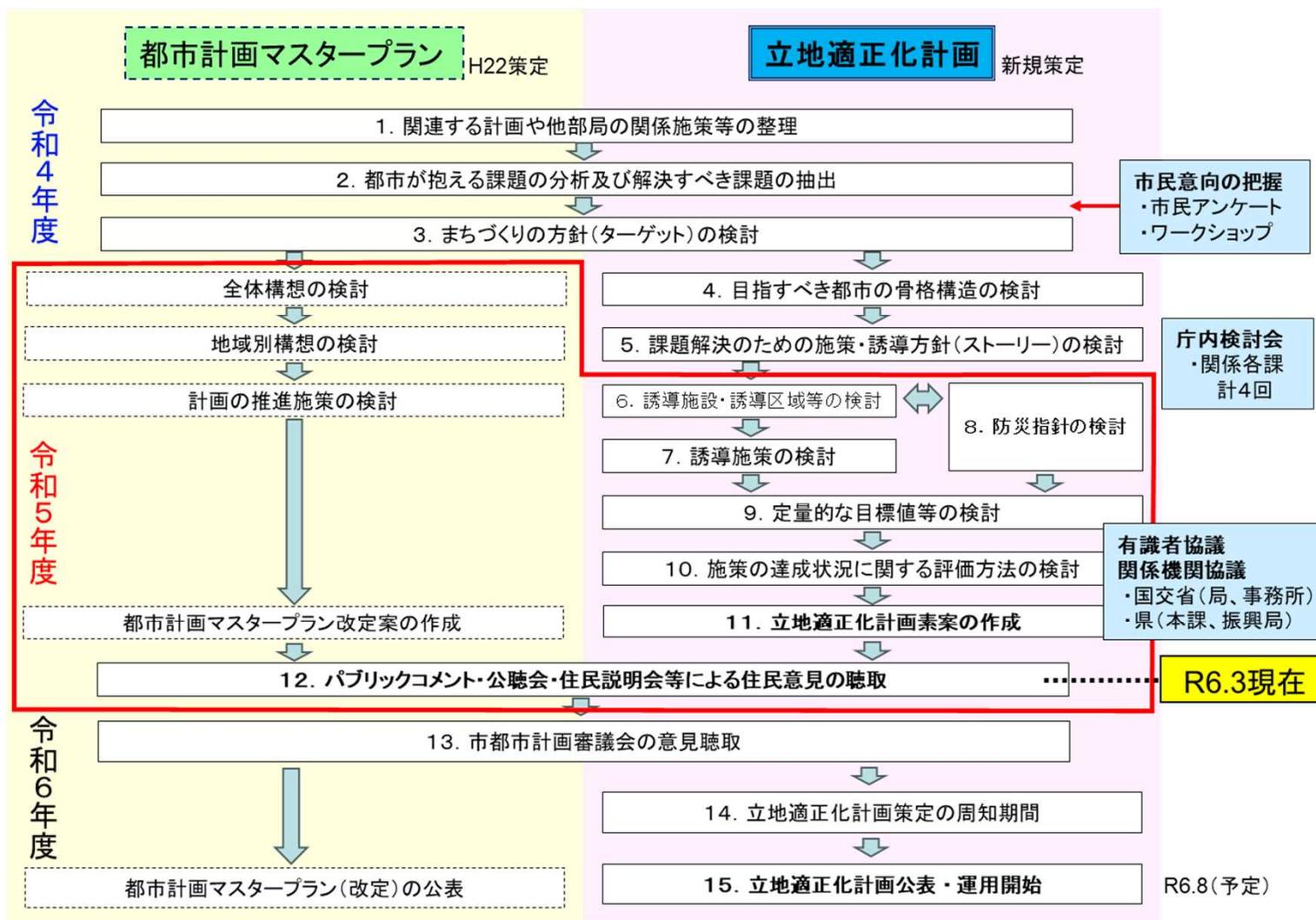
【想定最大規模の洪水浸水想定区域】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

## 立地適正化計画の策定

- 現行の都市計画マスタープランの修正に合わせて、「立地適正化計画」を新規策定中
- 都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住や都市機能を緩やかに誘導し、地域交通と連携した「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを目指す計画



## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## 森林の浸透、保水機能の発揮

- 造林、保育、間伐等の適切な森林整備を行うことで、森林の水源かん養機能の高度発揮を図り、下流域における洪水被害を減少させるための取組を実施します。

事業内容：森林整備

事業期間：令和5年～

施行地：国有林：林野庁東北森林管理局

民有林：秋田県、由利本荘市、にかほ市、森林整備センター

国有林：東北森林管理局

民有林：秋田県、由利本荘市、にかほ市

民有林内の水源林造成事業地  
(図の赤枠内緑色部分)  
整備機構森林整備センター



国有林：図の太赤枠内緑色部分

民有林：図の太赤枠内薄緑色部分

## 森林整備実施イメージ

### 【造林：植栽】



### 【保育：下刈】



### 【間伐】



## 治山対策の推進

- ・ 治山対策の推進により森林の有する水源かん養や土砂災害防止などの公益的機能の高度発揮を図り、下流域における洪水被害や土砂災害を減少させるための取組を実施する。

事業内容: 溪間工・山腹工  
事業期間: 令和5年～  
施行地: 国有林: 林野庁東北森林管理局  
民有林: 秋田県



国有林: 図の太赤枠内緑色部分  
民有林: 図の太赤枠内薄緑色部分

## 治山対策イメージ

【溪間工（治山ダム工）】



【山腹工】



### 教育機関との連携による出前講座・防災教育の拡充

- ・ 秋田県教育委員会の「安全教育推進委員会」に参画して、「安全管理指導者研修」や「外部指導者派遣事業」に講師を派遣し、防災教育を実施した。



### 秋田県と連携した気象防災ワークショップの開催

- ・ 秋田県や地域振興局と連携し防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催。中小河川編、風水害編、暴風雪大雪編について、参加者が防災気象情報の有効活用や体制構築等の判断のポイントを学習して、防災対応力の向上を図れるよう支援した。



### 秋田県防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上（県総合防災課）

地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動活性化を支援することを目的に、日本防災士会秋田県支部と連携し防災士を「防災アドバイザー」として派遣し、きめ細かなアドバイスを行うことで、地域防災力の向上を図っています。

#### 【防災アドバイザーの業務】

自主防災組織の運営・活動支援  
避難誘導・救助訓練、要援護者への対応要領を通じたの災害対応力の向上  
D I G（災害図上訓練）、HUG（避難所運営ゲーム）を通じて防災知識の普及・啓発を図る



防災士による講演状況



防災備蓄食料品の活用

### 自主防災組織育成指導者研修会（県総合防災課・市町村）

災害発生時の自主防災体制の確立を目的に、自主防災組織のリーダーや自治会長、市町村防災担当職員を対象とした防災教育を実施しています。



秋田大学地域防災減災総合研究センター  
水田教授による講演



秋田地方気象台によるワークショップ



県河川砂防課による流域治水の説明

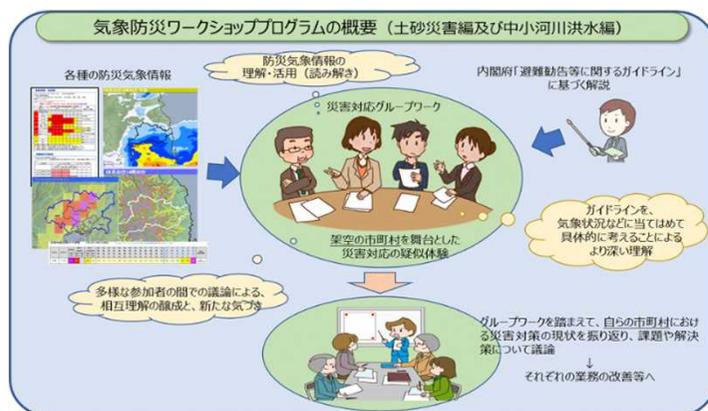
### 秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催（県総合防災課）

洪水災害や土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を活用し、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただきました。各種の防災気象情報を理解し有効活用するとともに、体制の強化や避難指示発令のタイミングを検討することで判断のポイントを学びます。

今後も県内市町村の防災担当者に広く参加していただき、防災対応力の向上を目指します。

地方公共団体等の防災対策協力・支援として引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

#### 気象防災ワークショップ（土砂災害）



#### 地域防災力を高めるために

市町村職員として、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで市の体制強化や避難の判断・伝達を実施することで、**住民の命を災害から守る**

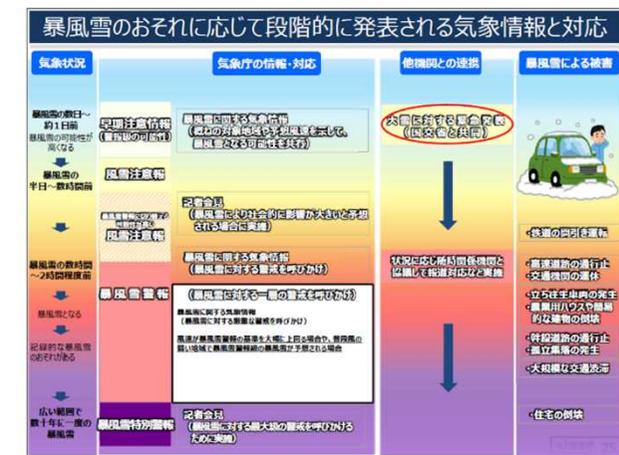


本ワークショップでの経験や気づきを今後の業務に活かしましょう！

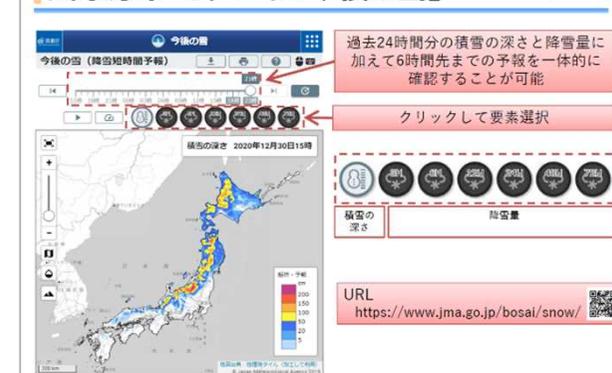


ワークショップの実施状況

#### 大雪・暴風雪のメカニズムと防災気象情報の利活用



#### 気象庁ホームページ「今後の雪」



## ハザードマップの改良、周知、活用

- 令和2年度において、想定最大規模の浸水想定に対応した洪水ハザードマップを作成し、合わせて、土砂災害、津波、火山の各ハザードマップと防災の知識をまとめた冊子を「わが家の防災マニュアル」として、市内全戸への配布を行い、防災意識の啓発を図った。

### 洪水の雨量基準を変更

これまでは50年または100年に1度の大雨を想定していたものが、千年に1度の雨量基準に変更になり、洪水・土砂災害マップの浸水地域が前回よりも広がりました。



「浸水継続時間」「家庭倒壊等氾濫想定区域」も新しく掲載



- 全戸配布(令和3年3月)
- 由利本荘市ケーブルテレビにて周知
- 由利本荘市公式HPへの掲載
- 市広報(令和3年3月15日号)への記事掲載

### 説明会実施状況

【令和3年度】	【令和5年度】
19地区で実施	24地区で実施
参加人数573名	参加人数926名
【令和4年度】	(2月末現在)
11地区で実施	
参加人数531名	

## ハザードマップの作成、周知、活用

令和4年度において、想定最大規模の浸水想定に対応した洪水浸水ハザードマップを作成し、市内全戸への配布を行い、防災意識の啓発を図った。

### 白雪川洪水浸水ハザードマップ作成

令和3年6月に秋田県知事が白雪川の洪水浸水想定区域をしたことに伴い、【白雪川上流域】【白雪川下流域】【象潟川・赤石川流域】の3種類を作成しました。



出前講座等での活用

- ・全戸配布(令和5年3月)
- ・にかほ市ホームページへの掲載
- ・市広報(令和5年3月15日号)への記事掲載

## 避難訓練への地域住民の参加促進

- まちづくり宅配講座において「逃げキッド（マイ・タイムライン検討ツール）」を活用しマイ・タイムラインの必要性、活用方法などを説明した。

## マイ・タイムライン検討ツール

**逃げキッド**  
マイ・タイムライン 検討ツール

余裕を持って安全に避難するために、マイ・タイムラインをつくって、いざという時の自分の行動を考えておきましょう。

3日前  
マイ・タイムラインがあるとき  
マイ・タイムラインがないとき

1日前  
雨や風が強くなる、お出かけは大変だね。

半日前  
雨が降り、川の水位がだんだん増える。自分がいるところで雨ってなくても、上流で雨が降れば川の水位は増えてくるよ。

7時間前  
激しい雨で、川の水がどんどん増え、河川敷にも水が溢れる。このまま増えたら、川の水が溢れるかも！

5時間前  
川の水がはいはいで、あるれそ。もうギリギリ！川の水が溢れる前に、安全なところへ逃げなさい！

3時間前  
0時間  
川の水位が急激に増え、お出かけは出来ません。

市・区・町・村 地区 家 マイ・タイムライン

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！

準備してみよう！ 避難は早い方がいいけど、お水はだんだんためておくよ！ 資料1

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで

5~3日前 ① 台風が発生  
天気予報で台風が発生してきているよ。まだ雨や風は強くないね。

1日前 ② 台風が近づいて、雨や風が強くなる、お出かけは大変だね。

半日前 ③ 雨が降り、川の水位がだんだん増える

7時間前 ④ 激しい雨で、川の水がどんどん増え、河川敷にも水が溢れる

5時間前  
3時間前 ⑤ 川の水がはいはいで、あるれそ

0時間 ⑥ 川の水が氾濫

マイ・タイムライン作成のためのチェックシート

洪水ハザードマップや浸水想定区域図等でチェック

あなたの住んでいる場所の浸水深は？  
m 5m以上 3-5m 0.5-3m 0.5m以下

あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は？  
時間 0.5-3m 0.5m以下

あなたの住んでいる場所は家屋倒壊等氾濫想定区域ですか？  
 はい  いいえ

あなたの住んでいる場所は土砂災害の危険があるところですか？  
 はい  いいえ

浸水ナビ QRコード ハザードマップポータルサイト QRコード

洪水ハザードマップや浸水想定区域図はここからチェック！

家庭の状況チェック

車  無  有 ( 台 )  
 ペット  無  有 ( )  
 持病薬  無  有 ( )  
 避難に支援が必要な人 (高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)  無  有 ( )

避難先のチェック

あなたが避難する場所

洪水ハザードマップに記載されている避難所  
〔 (移動手段: 移動時間: 約 分) 〕

親戚・知人の家  
〔 (移動手段: 移動時間: 約 分) 〕

その他 (近くの浸水しない場所 (浸水深以上の高さのある堅牢な建物など))  
〔 (移動手段: 移動時間: 約 分) 〕

### 防災教育の促進(自然災害伝承碑等の新規掘り起こし)

- 令和3年度に、本荘八幡神社の社号標(明治27年水害の記録)を国土地理院が運営する「自然災害伝承碑」に登録した。
- 令和5年度は、まだあまり知られていない石碑等を発掘をするために、地元新聞広告を用いて広く情報収集を実施。
- 由利本荘市(危機管理課・教育委員会)から「自然災害伝承碑」の候補となる石碑の提案があった。
- 今後は、収集した情報を用いて、小中学校等の防災教育でも周知・活用を図っていく。

**あきた災害の記憶伝承プロジェクト**

防災に役立つ“記憶”を集めています

秋田県は自然災害が少なく思われています。しかし今夏の記録的大雨による水害など、地球温暖化による気候変動の影響は、秋田県内でも顕著に増加しています。秋田新聞社では、地域に伝わる災害の事実を発掘、伝承することで、防災・減災に向けた取り組みに対する理解を深めてもらう【あきた災害の記憶伝承プロジェクト】を実施します。国土地理院地図に記された「自然災害伝承碑」に加え、地域に残る自然災害に関する言い伝え、身近にある自然災害関連の石碑などの情報を、【あきた災害の記憶伝承プロジェクト】へご提供ください。

各種自然災害(大雨・洪水・台風・地震・火災・土砂災害・大雪など)の記憶を教えてください。

任意の書式で構いません

上記、2次元コードを読み込み、設問に従ってご入力ください。

秋田新聞社 運営事務局  
TEL 018-888-3311  
FAX 018-888-5566

情報提供を呼びかけた地元新聞に掲載した広告

国土交通省秋田河川国道事務所 @mit\_akita

【防災に役立つ“記憶”を集めています】  
「あきた災害の記憶伝承プロジェクト」では地域に残る自然災害に関する言い伝えや災害石碑などの情報を集めています。秋田の防災に活かすため、あなたの“記憶”を教えてください。  
[customform.jp/form/input/164...](https://customform.jp/form/input/164...)

#防災 #みずしごと #あきた災害の記憶伝承プロジェクト

**あきた災害の記憶伝承プロジェクト**

防災に役立つ“記憶”を集めています

秋田県は自然災害が少なく思われています。しかし今夏の記録的大雨による水害など、地球温暖化による気候変動の影響は、秋田県内でも顕著に増加しています。秋田新聞社では、地域に伝わる災害の事実を発掘、伝承することで、防災・減災に向けた取り組みに対する理解を深めてもらう【あきた災害の記憶伝承プロジェクト】を実施します。国土地理院地図に記された「自然災害伝承碑」に加え、地域に残る自然災害に関する言い伝え、身近にある自然災害関連の石碑などの情報を、【あきた災害の記憶伝承プロジェクト】へご提供ください。

各種自然災害(大雨・洪水・台風・地震・火災・土砂災害・大雪など)の記憶を教えてください。

秋田新聞社 運営事務局  
TEL 018-888-3311  
FAX 018-888-5566

同じく、事務所SNS(X)のポスト



今年発掘した前郷地区の「水害防止記念碑」